



夏の風物詩を多くの人が堪能 納涼夏まつり

鳩山町納涼夏まつり実行委員会の主催により、8月2日に第1会場である町中央公民館北側駐車場で、3日には第2会場である鳩山ニュータウン・センター地区広場で納涼夏まつりが開催されました。

町商工会や消防関係者、ニュータウン防犯パトロール隊や県立鳩山高等学校の生徒を含むボランティアなど、多くの方々が協力した納涼夏まつり。来場者も含め、皆が祭りの風情を楽しみながら、心をひとつにしました。



【第1会場】①みんなで一緒に踊った「盆踊り」、②夏の夜空に咲いた「打ち上げ花火」、【第2会場】③会場を沸かせた「鳩山鼓韻の会」による太鼓演奏、④元気な声が響いた「子どもみこし」

青少年問題協議会主催による 青少年非行防止パトロール

町青少年問題協議会は7月26日・8月2日、町内で行われるイベントやお祭りに併せて、夜間外出中の児童・生徒の街頭指導および非行防止のパトロールを行いました。

活動には、主任児童委員や青少年相談員、小中学校PTAや校長先生、保護司、社会教育委員、青少年育成推進委員などの方々が参加。お祭り会場、公園、住民からの情報提供箇所などで青少年の非行を防ぐための声かけや見回り活動を実施し、公園の看板への落書きを管理者に報告するなどしました。



夜間パトロールに向かう協議会委員(納涼夏まつり会場にて)



いつまでもお元気で 100歳を祝って 新幡 よしさんを祝意訪問

7月24日で100歳となられる町内在住の新幡よしさんを、同日小峰町長が訪問し、長寿を祝福するとともに、長きにわたる社会貢献に敬意を表す慶祝状と記念品を贈呈しました。笑顔で記念品を受け取った新幡さんは、「夫に先立たれ苦労したこともありましたが、皆さんへの感謝の気持ちでいっぱいです。今日は今までで一番の日です」と語っていました。

8月1日現在、町には100歳以上の方が4人いらっしゃいます。これからもお健やかに過ごされますことをお祈りします。

町指定無形民俗文化財が鳩山の夏を荘厳に彩る 毛呂神社屋台囃子・八坂神社祭り囃子

7月19日、熊井毛呂神社で例大祭が行われ、地元囃子保存会の皆さんによる屋台囃子が披露され、悪魔退散や無病息災を願って行われるお囃子のにぎやかな音色が、熊井の鎮守の森に響き渡りました。



7月26、27日には、今宿八坂神社で夏季例大祭が行われ、神社から出発した山車が、にぎやかな祭り囃子を響かせながら、今宿の街を練り歩きました。

夏の風物詩となっている二つのお囃子は、どちらも町の指定無形民俗文化財で、その伝統は脈々と受け継がれています。

①②毛呂神社屋台囃子(熊井地内)、③④八坂神社祭り囃子(今宿地内)

民生委員・児童委員協議会 障害者福祉部会と 障害者支援施設利用者との交流会

7月19日、農村公園まっぼくり研修室(赤沼)で、町内の障害者支援施設(西山荘、聖神学園)の利用者と町民生委員・児童委員協議会 障害者福祉部会との交流会が開催されました。

交流会では、手遊びを楽しんだり、歌を歌ったりした後、民生委員・児童委員が育てたトウモロコシ・枝豆を味わいました。参加者は、「ありがとう」「楽しかった」「おいしかった」など、お互いの気持ちを伝えながら楽しい時間を過ごしました。



民生委員・児童委員と手遊びで交流する方々



講演する米良美一氏

歌手・米良美一氏が生きる力を語る こころの健康づくり講演会

7月19日、町文化会館で「鳩山町こころの健康づくり講演会」(主催:鳩山町自殺対策庁内連絡会。事務局:町保健センター)が開催され、歌手の米良美一氏が、難病とともに歩んできた経験談や名声を手にしてからの苦しみ、そこから得た、困難を乗り越えるための心がけについて語りました。

また、米良氏が思い入れのある楽曲を披露する一幕もあり、来場者は「閉じこもらずに、明るく前向きに生きていく大切さを学んだ」「歌も感動的で涙した」「自分の考え方一つで人生は変えられる」などと、米良氏の言葉に感銘を受けていました。